

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」班
平成18年度第1回総会プログラム

(敬称略)

平成18年7月20日(木)

開会(9:00)

- I. 厚生労働省健康局疾病対策課挨拶 厚生労働省健康局疾病対策課：牧野友彦
II. 主任研究者挨拶・研究の進め方 主任研究者：日比紀文
III. 研究報告(9:20～9:40)

(1) プロジェクト研究

「データベースの拡充・活用」 責任者：名川弘一

IBD データベース—解析結果3—

- 名川弘一(東京大腫瘍外科)、武藤徹一郎(癌研有明病院)、
日比紀文(慶應義塾大消化器内科)

(2) プロジェクト研究(9:40～10:10)

「疫学的解析」 責任者：武林 亨

難治性炎症性腸管障害の疫学像—成人例を中心として—

- 朝倉敬子、西脇祐司、武林 亨(慶應義塾大公衆衛生)、
桜庭 篤、日比紀文(同 消化器内科)、井上 詠、岩男 泰(同 包括先進医療センター)、
北洞哲治(国際医療福祉大熱海病院内科)

臨床調査個人票に基づく小児潰瘍性大腸炎およびクローン病の疫学的研究

- 石毛 崇、金子浩章、友政 剛(群馬大小児生体防御学)

(3) プロジェクト研究(10:10～10:40)

内科的治療法の工夫と2006年治療指針案

「潰瘍性大腸炎の難治例治療と緩解維持」 責任者：棟方昭博

潰瘍性大腸炎の診断基準—日本と欧米の比較—

- 棟方昭博(弘前大1内)

潰瘍性大腸炎大腸炎に対するRebamipide注腸と5-ASA注腸の有用性の比較検討—Randomized
Controlled Trialの結果報告

- 宮田充樹、佐藤真理、各務伸一(愛知医大消化器内科)、
森 健、大西正文(同 病院薬剤部)

(4) プロジェクト研究(10:40～11:00)

内科的治療法の工夫と2006年治療指針案

「クローン病の内科治療」 責任者：飯田三雄

(5) プロジェクト研究 (11:00~11:30)

癌化「サーベイランス法の確立」 責任者：松本誉之

潰瘍性大腸炎のサーベイランスアトラス作成

松本誉之、○樋田信幸（兵庫医大下部消化管）、
工藤進英、大塚和朗（昭和大横浜市北部病院消化器センター）、渡邊聡明（帝京大外科）、
名川弘一（東京大腫瘍外科）、五十嵐正広（癌研有明病院内視鏡部）、
佐田美和（北里大東病院消化器内科）、飯塚文瑛（東京女子医大消化器病センター）、
千葉俊美（岩手医大1内）、岩男 泰（慶應義塾大包括先進医療センター）、
渡辺憲治（大阪市大消化器器官制御内科）、味岡洋一（新潟大分子診断病理）

狙撃生検によるサーベイランスシステムの確立・癌化例の登録システムの構築

松本誉之、○樋田信幸（兵庫医大下部消化管）、
工藤進英、大塚和朗（昭和大横浜市北部病院消化器センター）、渡邊聡明（帝京大外科）、
名川弘一（東京大腫瘍外科）、五十嵐正広（癌研有明病院内視鏡部）、
佐田美和（北里大東病院消化器内科）、飯塚文瑛（東京女子医大消化器病センター）、
千葉俊美（岩手医大1内）、岩男 泰（慶應義塾大包括先進医療センター）、
渡辺憲治（大阪市大消化器器官制御内科）、味岡洋一（新潟大分子診断病理）

(6) プロジェクト研究 (11:30~12:00)

癌化「基礎面から」 責任者：味岡洋一

潰瘍性大腸炎の癌化過程 (colitic cancer) における Smad のリン酸化を介するシグナル伝達

岡崎和一、○川股聖二、松崎恒一、内田一茂、松下光伸（関西医大消化器肝臓内科）、
日比紀文、松岡克善（慶應義塾大学消化器内科）、岩男 泰（同 包括先進医療センター）

<昼食・幹事会>

(7) プロジェクト研究 (13:00~14:30)

「外科的治療法の確立と工夫」 責任者：佐々木 巖・杉田 昭

<プロジェクト研究>

pouchitis 診断基準作成と治療指針にむけて

○福島浩平、佐々木 巖、舟山裕士、柴田 近、高橋賢一、小川 仁、羽根田 祥、
渡辺和宏、工藤克昌、神山篤史、林 啓一（東北大生体調節外科）

Crohn 病肛門病変肉眼所見アトラス—アンケート報告—

○二見喜太郎、東 大二郎（福岡大筑紫病院外科）

Crohn 病外科治療成績に関する多施設共同研究（第2報）

○舟山裕士、佐々木 巖、福島浩平、柴田 近、高橋賢一、小川 仁、羽根田 祥、
渡辺和宏、工藤克昌、神山篤史、林 啓一（東北大生体調節外科）

Crohn 病術後経腸栄養療法の再発予防効果の検討 - RCT の進行状況 -

○杉田 昭、小金井一隆（横浜市民病院外科）、木村英明（横浜市中市民総合医療センター）
潰瘍性大腸炎、Crohn 病に合併した小腸、大腸癌の特徴と予後—アンケート集計結果—

○杉田 昭、小金井一隆（横浜市民病院外科）、木村英明（横浜市中市民総合医療センター）、
佐々木 巖（東北大生体調節外科）

<各個研究>

Crohn 病肛門病変先行例の検討

○二見喜太郎、東 大二郎 (福岡大筑紫病院外科)

炎症性腸疾患におけるストーマ関連合併症について

○高橋賢一、佐々木 巖、舟山裕士、福島浩平、柴田 近、小川 仁、羽根田 祥、渡辺和宏、工藤克昌、神山篤史、林 啓一 (東北大生体調節外科)

Crohn 病症例に造設した人工肛門の経過と問題点

○小金井一隆、杉田 昭 (横浜市民病院外科)、木村英明 (横浜市大市民総合医療センター)

腸管膀胱瘻を合併したクローン病症例の検討

○藤井久男 (奈良医大中央内視鏡超音波部)、小山文一、向川智英、中川 正、内本和晃、大槻憲一、中村信治、中島祥介 (同 消化器総合外科)、吉川周作、稲次直樹 (同 大腸肛門病センター)

潰瘍性大腸炎緊急手術例の検討

○飯合恒夫、亀山仁史、野上 仁、小林康雄、島田能史、丸山 聡、谷 達夫、畠山勝義 (新潟大消化器・一般外科)

IACA 術後 pouch 関連合併症に対する endorectal pouch advancement (続報)

○中島清一、甲斐康之、西田俊朗 (大阪大外科)、伊藤壽記 (同 生体機能補完医学) 根津理一郎、長谷川順一、安政啓吾 (大阪労災病院外科)、

手術症例から見た colitic cancer の現状と術式の選択

山村武平、○池内浩基、中埜廣樹、内野 基、野田雅史、柳 秀憲 (兵庫医大2外)、福田能啓 (同 臨床栄養部)、松本蒼之 (同 下部消化管)

潰瘍性大腸炎患者の周術期における免疫学的問題点

楠 正人、三木誓雄、荒木俊光、○吉山繁幸、大北喜基、大竹耕平 (三重大病態修復医学消化管・小児外科)

IBD 術後患者における骨粗鬆症の現状

亀岡信悟、○板橋道朗、番場嘉子、小川真平、廣澤知一郎 (東京女子医大2外)、飯塚文瑛、白鳥啓子 (同 消化器内科)

<コーヒーブレイク>

(8) 再生分科会 (14:40~15:20)

粘膜再生治療「基礎面から」 責任者：土肥多恵子

Wnt 活性化腸上皮細胞の解析

佐藤俊朗、○伊達昌一、日比紀文 (慶應義塾大消化器内科)、松崎有未、岡野栄之 (同 生理学)、工藤 明 (東京工業大生命理工学)

上皮細胞形態形成蛋白 epimorphin の腸上皮細胞に及ぼす新たな作用

○飯塚政弘、相良志穂、伊藤博彰、堀江泰夫、渡辺純夫 (秋田大1内)

炎症応答と消化管粘膜再生—IL-13 の役割

○土肥多恵子 (国立国際医療センター研究所)、中島 淳 (横浜市大分子消化器)、小島 至 (群馬大生体調節研究所)、片岡寛章 (宮崎大2病理)

腸管上皮分化/再生機構の解析と粘膜再生治療への応用

○岡本隆一、土屋輝一郎、新垣美都代、吉岡 篤、村山巖一、井上和成、金井隆典
渡辺 守（東京医歯大消化器内科）

(9) 再生分科会 (15:20~15:50)

粘膜再生治療「臨床面から」 責任者：今井浩三

実験腸炎における骨髄（骨髄間葉系幹細胞）の役割

○矢花 崇、田中道寛、田中浩紀、中原生哉、後藤 啓、有村佳昭、本谷 聡、篠村恭久、
今井浩三（札幌医大1内）

(10) プロジェクト研究 (15:50~16:30)

「エビデンスに基づく炎症性腸疾患の診療ガイドライン開発と診療オプションの策定」

責任者：上野文昭

潰瘍性大腸炎の診療ガイドライン：インターネットを用いた情報提供

○高橋奈津子、吉田雅博、山口直人

（日本医療機能評価機構・医療技術評価総合研究医療情報サービスセンター）

診療ガイドラインの一般向けリライト作業の骨子と問題点

中山健夫（京都大健康情報学）、○上野文昭（大船中央病院）、

井上 詠（慶應義塾大包括先進医療センター）、小林健二（東海大総合内科）

クローン病の診療ガイドライン：日本消化器病学会との共同開発に向けた準備状況

○上野文昭（大船中央病院）、松井敏幸（福岡大筑紫病院消化器科）、

日比紀文（慶應義塾大消化器内科）

(11) プロジェクト研究 (16:30~16:50)

「臨床活動性指標と内視鏡指標の標準化」 責任者：松井敏幸

新規プロジェクト：IBDの臨床評価とその指標

○松井敏幸、平井郁仁（福岡大筑紫病院消化器科）、藤井久男（奈良医大中央内視鏡部）、

田中信治（広島大光学医療診療部）、鈴木康夫（東邦大付属佐倉病院内科）、

押谷進英（大阪市大消化器器官制御学）、井上 詠（慶應義塾大包括先進医療センター）、

青柳邦彦（福岡大3内）、小林清典（北里大東病院消化器内科）

事務局連絡

懇親会

平成18年7月21日(金)

Ⅲ. 研究報告(続)

(12) プロジェクト研究(9:00~9:20)

「疾患関連遺伝子の追究」 責任者: 木内喜孝

TNFSF/TNFRSF 遺伝子多型と日本人炎症性腸疾患との関連

○木内喜孝、野村栄樹、根来健一、高橋成一、高木 承、遠藤克哉、下瀬川 徹(東北大消化器病態学)、杉村一仁(新潟大3内)

(13) プロジェクト研究(9:20~9:40)

「腸内細菌の関与(病態、治療への応用)」 責任者: 藤山佳秀

(14) プロジェクト研究(9:40~11:10)

病態追究「病因解明に向けて」 責任者: 千葉 勉

潰瘍性大腸炎腸管局所における TGF- β 受容体の検討

○島谷孝司、石黒 陽、平賀寛人、櫻庭裕丈、山口佐都子、藤田 均、川口章吾、佐藤裕紀、山形和史、棟方昭博(弘前大1内)

IL-10KO マウスにおける Paneth 細胞 α -defensin の発現低下

○稲場勇平、蘆田知史、高後 裕(旭川医大消化器・血液腫瘍制御内科)、田邊裕貴、前本篤男(同 消化管再生修復医学)

顆粒球除去療法不応潰瘍性大腸炎患者の免疫学的特性に関する検討—Colectomy 前後での Regulatory T-cell の経時変化を中心として—

松本誉之、○福永 健、横山陽子、日下 剛、大西国夫、上小鶴孝二、戸澤勝之、長瀬和子(兵庫医大下部消化管)

炎症性腸疾患における collectin の血中濃度および SNPs 解析

○田中道寛、田中浩紀、矢花 崇、中原生哉、後藤 啓、有村佳昭、野村昌史、本谷 聡、篠村恭久、今井浩三(札幌医大1内)

炎症性腸疾患の病態における CXCL-12-CXCR4axis の関与

○仲瀬裕志、三上 栄、西尾彰功、千葉 勉(京都大消化器内科)

SAMP1/Yit 小腸炎における IL-6 trans-signaling 抑制剤の効果

○光山慶一、富安信夫、増田淳也、山崎 博、佐田通夫(久留米大消化器内科)

MIF (macrophage migration inhibitory factor) の制御による炎症性腸疾患の新しい治療法の開発

○武田宏司、大川原辰也、浅香正博(北海道大消化器内科)

HO-CO 気に基づいた腸炎治療の試み

○高木智久、内藤裕二、鈴木隆裕、鎌田和浩、半田 修、古倉 聡、市川 寛、吉田憲正、吉川敏一(京都府立大生体機能制御学)

マウス実験腸炎におけるミゾリビンの治療効果

○松永久幸、穂苅量太、高本俊介、渡邊知佳子、三浦総一郎(防衛医大内科)

新しい免疫抑制剤 KRP-203 による IL-10 ノックアウトマウスにおける腸炎抑制効果

○甲斐康之、中島清一、松田 宙(大阪大外科1)、水島恒和(りんくう総合医療センター市立泉佐野病院外科)、安政啓吾、根津理一郎(大阪労災病院外科)、伊藤壽記(大阪大生体機能補完医学)

骨髄に存在する腸炎惹起性 CD4+effector-memoryT 細胞の臨床的意義

○根本泰宏、金井隆典、渡辺 守（東京医歯大消化器内科）

L-Histidine によるマウス実験腸炎抑制効果の作用機序解析

○久松理一、鎌田信彦、知念 寛、小林 拓、井上 詠、岡本 晋、
日比紀文（慶應義塾大消化器内科）、

安藤綾俊（同 消化器内科・味の素株医薬カンパニー医薬研究所）、
橋本雅棋 木原秀晃（味の素株医薬カンパニー医薬研究所）

(15) プロジェクト研究 (11:10~11:40)

「医師主導の臨床試験の実施とその評価」 責任者：高後 裕

臨床試験プロジェクトの進捗状況について

○高後 裕（旭川医大消化器・血液腫瘍制御内科）

事務局連絡

閉会挨拶

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」班
平成18年度第2回総会プログラム

(敬称略)

平成19年1月25日(木)

開会(9:00)

I. 主任研究者挨拶・研究の進め方 主任研究者：日比紀文

II. 研究報告

(1) プロジェクト研究(9:10~9:40)

「疫学的解析」 責任者：武林 亨

難治性炎症性腸管障害の疫学像

○朝倉敬子、武林 亨、西脇祐司(慶應義塾大公衆衛生学)、

北洞哲治(国際医療福祉大熱海病院内科)、井上 詠、日比紀文(同 消化器内科)

平成16年度個人票データを用いた小児炎症性腸疾患の疫学像

○石毛 崇、鈴木僚子、羽鳥麗子、友政 剛、森川昭廣(群馬大小児生体防御学)、
武林 亨(慶應義塾大公衆衛生学)

(2) プロジェクト研究(9:40~10:00)

「データベースの拡充・活用」 責任者：名川弘一

IBD データベース—解析結果4—

○名川弘一(東京大腫瘍外科)、武藤徹一郎(癌研有明病院)、

日比紀文(慶應義塾大消化器内科)

(3) プロジェクト研究(10:00~10:40)

内科的治療法の工夫と2006年治療指針案

「潰瘍性大腸炎の難治例治療と緩解維持」 責任者：棟方昭博

潰瘍性大腸炎の難治例治療と緩解維持

○棟方昭博(弘前大1内)

潰瘍性大腸炎の診断基準—日本と欧米の比較—

○棟方昭博(弘前大1内)

小児潰瘍性大腸炎治療指針 改訂について

○余田 篤(大阪医大小児科)、友政 剛(群馬大小児生体防御学)、

牛島高介(久留米大医療センター小児科)、内田恵一(三重大消化管小児外科学)、

鍵本聖一(埼玉県立小児医療センター総合診療科)、清水俊明(順天堂大小児科思春期科)、

鈴木康夫(東邦大医療センター佐倉病院内科)、高添正和(社保中央総合病院内科)、

田尻 仁(大阪府立急性期総合医療センター小児科)、田原卓浩(たはらクリニック)、

根津理一郎(大阪労災病院外科)、小林昭夫(東京家政学院大)

※厚生労働省健康局疾病対策課挨拶(10:15) 課長補佐：林 修一郎

(4) プロジェクト研究 (10:50~11:30)

内科的治療法の工夫と 2006 年治療指針案

「クローン病の内科治療」 責任者：飯田三雄

発症早期クローン病に対するインフリキシマブの効果：全国アンケート調査

○飯田三雄 (九州大病体機能内科)

球形吸着炭素製剤はクローン病の難治性痔瘻に有用である

○福田能啓 (兵庫医大臨床栄養)、富田寿彦、堀 和敏、應田義雄、樋田信幸、福永 健、松本譽之 (同 下部消化管)、池内浩基、山村武平 (同 2外)、田村和朗 (同 先端医学研究所家族性腫瘍部門)、高添正和 (社保中央総合病院内科)、杉田 昭 (横浜市立病院外科)

クローン病腸管狭窄の進展予防におけるトラニラストの有用性

○押谷伸英、鎌田紀子、十河光荣、山上博一、渡辺憲治、荒川哲男 (大阪市大消化器器官制御内科)

<昼食・幹事会> (11:30~13:00)

(5) プロジェクト研究 (13:00~14:30)

「外科的治療法の確立と工夫」 責任者：佐々木 巖・杉田 昭

外科プロジェクトまとめ (17分)

○佐々木 巖 (東北大生体調節外科)

○杉田 昭 (横浜市民病院外科)

<プロジェクト研究> (発表4分、討論1分)

Pouchitis 治療指針案について

○福島浩平、舟山裕士、柴田 近、三浦 康、高橋賢一、小林照忠、小川 仁、上野達也、木内 誠、小山 淳、工藤克昌、神山篤史、林 啓一、佐藤 学、佐々木 巖 (東北大生体調節外科)

Crohn 病肛門病変に対する診断と治療

○二見喜太郎、東 大二郎 (福岡大筑紫病院外科)

CD 外科治療成績に関する多施設共同研究 (第2報)

○舟山裕士、福島浩平、柴田 近、三浦 康、高橋賢一、小林照忠、小川 仁、上野達也、木内 誠、小山 淳、工藤克昌、神山篤史、林 啓一、佐藤 学、佐々木 巖 (東北大生体調節外科)

クローン病術後経腸栄養療法の再発予防効果の検討

○杉田 昭、小金井一隆 (横浜市民病院外科)、木村英明 (横浜市大市民総合医療センター)

潰瘍性大腸炎、Crohn 病に合併した小腸、大腸癌の特徴と予後の検討—多施設共同研究—

○杉田 昭、小金井一隆 (横浜市民病院外科)、木村英明 (横浜市大市民総合医療センター)、佐々木巖 (東北大学生体調節外科)

潰瘍性大腸炎術後患者における骨粗鬆症の現状調査—第一報—

○亀岡信悟、○板橋道朗、番場嘉子、廣澤知一郎、小川真平 (東京女子医大2外)、飯塚文瑛、白鳥敬子 (同 消化器病センター)

Crohn 病手術例の術後妊娠、出産例の検討—アンケート調査—

○小金井一隆、杉田 昭 (横浜市民病院外科)、木村英明 (横浜市大市民総合医療センター)

<各個研究> (発表3分、討論1分)

クローン病癌合併症例の診断・治療・予後について

山村武平、○池内浩基、中野廣樹、内野 基、中村光宏 (兵庫医大2外)、
福田能啓 (同 臨床栄養部)、富田寿彦 (同 上部消化管)、松本誉之 (同 下部消化管)

Crohn 病における悪性腫瘍の合併

○東 大二郎、二見喜太郎 (福岡大筑紫病院外科)

クローン病における腸切除後再建法が再手術率、再発形式に及ぼす影響について

伊藤壽記、○根津理一郎、甲斐康之、中島清一、水島恒和、玉川浩司
(大阪大消化器外科、大阪労災病院外科)

潰瘍性大腸炎に対する回腸囊肛門吻合術後長期経過例の検討

○飯合恒夫、亀山仁史、谷 達夫、丸山 聡、畠山勝義 (新潟大消化器一般外科)

潰瘍性大腸炎術後の回腸囊炎の治療について? どこまで治療するべきか

○藤井久男 (奈良医大中央内視鏡超音波部)、小山文一、向川智英、中川 正、
内本和晃、大槻憲一、中村信治、中島祥介 (同 消化器総合外科)、
吉川周作、稲次直樹 (厚生会奈良大腸肛門病センター)

潰瘍性大腸炎周術期における免疫学的問題点の検討

楠 正人、三木誓雄、○荒木俊光、吉山繁幸、大北喜基 (三重大消化管小児外科学)

UC 患者手術後 SSI 発症抑制に対する LCAP の有効性—第一報—

亀岡信悟、○板橋道朗 (東京女子医大2外)、河野 透 (旭川医大2外)、
楠 正人 (三重大小児外科学)、中村利夫 (浜松医大2外)、竹末芳生 (兵庫医大感染制御学)、
池内浩基 (兵庫医大2外)、大毛宏喜 (広島大外科)

炎症性腸疾患における胆嚢結石症の臨床病理学的検討

○工藤克昌、舟山裕士、福島浩平、柴田 近、三浦 康、高橋賢一、小林照忠、
小川 仁、上野達也、木内 誠、小山 淳、神山篤史、林 啓一、佐藤 学、
佐々木 巖 (東北大生体調節外科)

(6) プロジェクト研究 (14:30~15:00)

癌化「サーベイランス法の確立」 責任者: 松本誉之

狙撃生検を用いたサーベイランスプロジェクト報告 (5年間のまとめと今後の展望)

松本誉之、○樋田信幸 (兵庫医大下部消化管)、岩男 泰 (慶應義塾大包括先進医療センター)、
工藤進英、大塚和朗 (昭和大横浜北部病院消化器センター)、渡邊聡明 (帝京大外科)、
名川弘一 (東京大腫瘍外科)、五十嵐正広 (癌研有明病院内視鏡診療部)、
佐田美和 (北里大東病院消化器内科)、飯塚文瑛 (東京女子医大消化器病センター)、
千葉俊美 (岩手医大1内)、渡辺憲治、押谷伸英 (大阪市大消化器器官制御内科)、
味岡洋一 (新潟大診断病理)

UC 関連腫瘍の表面微小構造について

○工藤進英、浜谷茂治、大塚和朗 (昭和大横浜市北部病院消化器センター)、
日比紀文 (慶應義塾大内科)、岩男 泰 (同 包括先進医療センター)、
味岡洋一 (新潟大診断病理)、飯塚文瑛 (東京女子医大消化器病センター)、
今村哲理 (札幌厚生病院)、小林清典、佐田美和 (北里大学東病院消化器内科)、
田中信治 (広島大光学医療診療部)、田村 智 (高知大)、鶴田修 (久留米大)、
樋田信幸、松本誉之 (兵庫医大下部消化管)、平田一郎 (藤田保健衛生大消化管内科)、
渡辺憲治 (大阪市大消化器器官制御内科)、渡邊聡明 (帝京大外科)

(7) プロジェクト研究 (15:00~15:30)

癌化「基礎面から」 責任者：味岡洋一

潰瘍性大腸炎における癌化と遺伝子変異

○渡邊聡明、味岡洋一（新潟大診断病理）、名川弘一（東京大腫瘍外科）

潰瘍性大腸炎の癌化における Smad のリン酸化シグナル伝達の解析

○川股聖二、松崎恒一、内田一茂、松下光伸（関西医大消化器肝臓内科）、

日比紀文、松岡克善（慶應義塾大消化器内科）、岩男 泰（同 包括先進医療センター）

(8) 再生分科会 (15:30~16:10)

粘膜再生治療「基礎面から」 責任者：土肥多恵子

Wnt 活性化腸上皮細胞の解析

佐藤俊朗、○伊達昌一、日比紀文（慶應義塾大消化器内科）、

松崎有未、岡野栄之（同 生理学）、工藤 明（東京工業大生命理工学研究科）

腸管粘膜再生における上皮分化シグナル制御の解析

○岡本隆一、土屋輝一郎、吉岡篤史、新垣美都代、村山巖一、井上和成、金井隆典、
渡辺 守（東京医歯大消化器内科）

エピモルフィンの腸上皮細胞創傷治療に及ぼす影響

○飯塚政弘、相良志穂、堀江泰夫（秋田大1内）、渡辺純夫（順天堂大消化器内科）

炎症応答と消化管粘膜再生に関する基礎研究

○土肥多恵子（国立国際医療センター研究所）、中島 淳（横浜市大分子消化器）、

小島 至（群馬大生体調節研究所）、片岡寛章（宮崎大2病理）

(9) 再生分科会 (16:10~16:30)

粘膜再生治療「臨床面から」 責任者：今井浩三

骨髄不全ラット DSS 腸炎に対する骨髄間葉系幹細胞治療

○矢花 崇、田中道寛、田中浩紀、中原生哉、後藤 啓、有村佳昭、本谷 聡、篠村恭久、
今井浩三（札幌医大1内）

(10) プロジェクト研究 (16:30~17:00)

「エビデンスに基づく炎症性腸疾患の診療ガイドライン開発と診療オプションの策定」

責任者：上野文昭

潰瘍性大腸炎診療ガイドラインの一般向け解説集について

山口直人、○吉田雅博、八重ゆかり、大郷可南子

（日本医療機能評価機構・医療技術評価総合研究医療情報サービスセンター）、

上野文昭（大船中央病院）

エビデンスに基づいた炎症性腸疾患の診療ガイドライン開発

ープロジェクト研究の成果と課題ー

○上野文昭（大船中央病院）、井上 詠（慶應義塾大消化器内科）、

小林健二（東海大総合内科）、古宮憲一（国立病院東京医療センター消化器科）、

尾藤誠司（国立病院機構本部研究課臨床疫学推進室）、中山建夫（京都大健康情報学）、

五十嵐正広（癌研有明病院内視鏡診療部）、伊藤裕章（北野病院炎症性腸疾患センター）、

杉田 昭（横浜市民病院外科）、正田良介（国立国際医療センター総合外来部）、

野口善令（名古屋第2赤十字病院総合内科）、樋渡信夫（いわき市立総合磐城共立病院）、

福島恒男（福島病院）、松井敏幸（福岡大筑紫病院消化器科）、
松本誉之（兵庫医大下部消化管科）、棟方昭博（弘前大1内）、
飯塚文瑛（東女医大消化器病センター）、岩男 泰（慶應義塾大包括先進医療センター）、
岳野光洋（横浜市大内科）、松田隆秀（聖医大内科）、小林清典（北里大内科）、
鈴木康夫（東邦大佐倉病院内科）、渡邊聡明（帝京大外科）

事務局連絡

懇親会

平成19年1月25日（金）

Ⅲ. 研究報告（続）

(11) プロジェクト研究（9:00～9:30）

「臨床活動性指標と内視鏡指標の標準化」 責任者：松井敏幸

IBDの臨床指標と内視鏡指標の標準化 複数の指標間の比較

○松井敏幸、平井郁仁、（福岡大筑紫病院消化器科）、青柳邦彦（福岡大消化器内科）、
鈴木康夫（東邦大佐倉病院内科）、藤井久男（奈良医大中央内視鏡超音波部）、
押谷伸英（大阪市大消化器器官制御内科）、
田中信治（広島大光学医療診療部）、小林清典（北里大東病院消化器内科）、
井上 詠（慶應義塾大包括先進医療センター）

(12) プロジェクト研究（9:30～9:50）

「疾患関連遺伝子の追究」 責任者：木内喜孝

(13) プロジェクト研究（9:50～10:20）

「腸内細菌の関与（病態、治療への応用）」 責任者：藤山佳秀

UC患者由来 *Bacteroides vulgatus* 株の付着性に関する検討

○岡村 登、佐藤賢哉、水流育江、千田俊雄（東京医歯大保健衛生）、
安藤 朗、藤山佳秀（滋賀医大消化器内科）

潰瘍性大腸炎再燃に *Clostridium difficile* が関与したと思われる7例の検討

○宮田充樹、佐藤真理、伊藤義紹、笠原明仁、舟木 康、飯田章人、春日井邦夫
（愛知医大消化器内科）

(14) プロジェクト研究（10:20～11:20）

病態追究「病因解明に向けて」 責任者：千葉 勉

難治性潰瘍性大腸炎における多剤耐性遺伝子発現に関する検討

○島谷孝司、石黒 陽、櫻庭裕丈、佐藤裕紀、川口章吾、平賀寛人、山口佐都子、
藤田 均、山形和史、棟方昭博（弘前大1内）

腸内細菌環境の変化がエンドトキシン惹起性Tリンパ球 migration に及ぼす影響

○竹林晃一、穂刈量太、三浦総一郎（防衛医大内科）

NOD2の活性化によるTLR Signalingの制御機構とそのクローン病における役割

○渡邊智裕、千葉 勉（京都大消化器内科）

IBDの病態におけるTh17とTNF- α

藤山佳秀、○小川敦宏、安藤 朗、辻川知之、佐々木雅也（滋賀医大消化器内科）

慢性大腸炎骨髄に潜む腸炎惹起性 CD4+T 記憶細胞

○根本泰宏、金井隆典、蒔田 新、戸塚輝治、渡辺 守 (東京医歯大消化器内科)
炎症性腸疾患の新しい診断・病態進展マーカーの探索～プロテオーム解析を用いて～
坪内博仁 (鹿児島大消化器疾患・生活習慣病学、京都大探索医療センター)、
○沼田政嗣、井戸章雄、山路尚久、瀬戸山 仁 (京都大探索医療センター)、
児玉真由美、上村修司 (宮崎大2内)、
藤田 浩、宇都浩文 (鹿児島大消化器疾患・生活習慣病学)

Carbon monoxide (CO) を用いた実験腸炎発症抑制効果の検討

○高木智久、半田 修、古倉 聡 (京都府医大生体安全医学)、
内藤裕二 (同 生体機能分析医学)、奥田敏充、水島かつら、鈴木隆裕、岡山哲也、平田育大、
尾松達司、坪井寿人、吉川敏一 (同 生体機能制御学)、吉田憲正 (同 消化器病態制御学)、
市川 寛 (同 人間環境学部)

熱ショック蛋白質に着目した顆粒球・単球吸着療法の作用機序

○福永 健、戸澤勝之、上小鶴孝二、横山陽子、日下 剛、大西国夫、長瀬和子、
松本誉之 (兵庫医大下部消化管)

炎症性腸疾患における血中アミノ酸プロファイル

久松理一、岡本 晋、日比紀文 (慶應義塾大消化器内科)、
安藤綾俊 (同、味の素医薬カンパニー)、村松孝彦、鈴木 学 (味の素医薬カンパニー)

(15) プロジェクト研究 (11:20～11:50)

「医師主導の臨床試験の実施とその評価」 責任者：高後 裕

臨床試験プロジェクト研究について

○高後 裕 (旭川医大消化器血液腫瘍制御内科学)
ステロイド未投与活動期潰瘍性大腸炎に対する白血球除去療法の効果と安全性の検討
—多施設共同研究—

○蘆田知史、高後 裕 (旭川医大消化器・血液腫瘍制御内科学)、棟方昭博 (弘前大1内)、
野口光徳 (仙台社保病院消化器科)、飯塚文瑛 (東京女子医大消化器病センター)、
遠藤 豊 (昭和大藤が丘病院内科)、花井洋行 (浜松医大光学医療診療部)、
吉川敏一 (京都府医大生体機能制御学)、松本誉之 (兵庫医大下部消化管)、
青山伸郎 (神戸大光学医療診療部)、松井敏幸 (福岡大筑紫病院消化器科)、
光山慶一 (久留米大2内)、日比紀文 (慶應義塾大消化器内科)

事務局連絡

閉会挨拶